

李登輝・前総統、きょう来日...文化交流と旅行が目的

【台北 = 石井利尚】台湾の李登輝前総統(84)は30日、学術・文化交流と観光旅行のため、日本を訪問する。

李氏の訪日は2004年12月の観光旅行以来で、2000年の総統退任後3度目。李氏は、総統退任後、初めて東京を訪れるほか、6月9日までの日本滞在中、初の講演や記者会見を行う。

訪日は、中嶋嶺雄・国際教養大学長の招請によるもの。李氏は30、31の両日、都内を観光し、6月1日に「第1回後藤新平賞」授賞式に出席、同賞を受ける。その後、松尾芭蕉の「奥の細道」のルートをたどり、宮城、山形、岩手、秋田各県を回る。7日には、都内で「2007年以降の世界情勢」と題する講演を行い、政財界関係者とも交流する予定だ。

李氏は先の本紙などとの会見で、「(戦前に)私が受けた教育や文化について話し、日本はいい国だ、頑張りなさいと伝えたい」などと抱負を語っていた。日本政府は05年から、台湾からの短期滞在の観光客について査証(ビザ)を免除しており、李氏も「私人」としてビザなしで訪日する。

李氏は01年に心臓病の治療目的で、04年には名古屋や京都、金沢などの観光のため訪日したが、中国の反発を懸念する日本政府に配慮して、講演や記者会見は避けていた。

(2007年5月30日0時5分 読売新聞)

<http://www.yomiuri.co.jp/world/news/20070529i116.htm>